



“Program Update”

MRJ 飛行試験再開



(飛行試験 6 回目)

飛行試験の状況

2月10日、フィードバック改修後の機能試験及び走行試験を経て、飛行試験を再開しました。

その後も太平洋側の空域にて継続的に実施しており、各種機能確認、飛行領域拡大など順調に試験項目を消化しています。2月中に4回の飛行試験を行い、昨年11月の3回を含め、2月末までに計7回の飛行試験を実施しました。

引続き、3月以降も国内での飛行試験を継続し、米国における飛行試験へと移行して参ります。

エアロリース社とMRJ最大20機購入で基本合意

三菱航空機と米国の航空機リース会社 エアロリース社 (Aerolease Aviation, LLC) は、MRJ90 20機(確定10機、オプション10機)の確定発注に向けた基本合意に至り、2月16日にシンガポールエアショーにてサインを交わしました。今後、この基本合意をもとに、早期に正式契約を締結する予定です。

エアラインで運航している機体には、自社購入機体とリース機体があり、リースの占める割合が年々増加しています。今回、航空機リース会社と初の基本合意に至ったことは、MRJの価値がリースマーケットでも高く評価されていることを示しています。我々はプログラムの早い段階でエアロリース社をパートナーとして迎え入れることを誇りに思うとともに、今後の受注活動にも大きく寄与するものと考えています。

今回のエアロリース社との基本合意が確定すると、MRJの合計受注機数は427機(確定233機、オプション170機、購入権24機)となります。



三菱航空機
森本社長

エアロリース社
ジェブ・ソートン代表



“Hot Topic”

シンガポールエアショー2016に出展

2月16日～19日、シンガポール・チャンギ国際空港に隣接するエキシビジョンセンターにて開催されたシンガポールエアショーに出展しました。同イベントは2年に1度開催されるアジア最大のエアショーで、MRJは2008年より出展しており、今回が5回目の参加となります。

エアロリース社との基本合意の発表で始まった本会期中、メディア向けに市場状況(アジア需要予測)やプログラムの最新状況について詳細な説明を行いました。実物大のキャビンモックアップとフライトデッキディスプレイを展示した当社ブースには、エアライン及びリース会社から多数の訪問がありました。またパートナー会社との会議やアジアでの機体整備体制の構築に向けたカスタマーサポート関連の協議も進めることができました。

